

令和 7 年度 地域連携推進会議 会議録

開催日時：令和 7 年 4 月 23 日（水）10:00～10:50

開催場所：野田市中野台 170-4 芽ぐみ

出席者：地域住民 A 様 知見を有する者 B 様 ご家族様 C・D・E 様 ご利用者様 F 様

司会：共同生活援助 野田芽吹学園 管理者 中村 正剛

会議内容：

- ①地域連携推進会議の目的
- ②共同生活援助 野田芽吹学園の基本方針
- ③運営状況等
- ④余暇支援等の報告
- ⑤権利擁護等の取組
- ⑥通報、避難訓練等の報告
- ⑦ご要望・ご助言
- ⑧ホーム見学（芽ぐみ→陽の芽→希の芽）

①地域連携推進会議の目的

令和 6 年度報酬改定において共同生活援助における支援の質の確保が重要な課題として報告されました。

これに伴い居住系サービスである共同生活援助（グループホーム）において、地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催することが義務付けられました。

会議を通じて様々な立場の方からの視点で、ご意見・ご要望を伺い、これまで当事業所では気づかなかった課題やサービス改善、支援の質の向上に役立てていくことを目的としています。

②共同生活援助 野田芽吹学園の基本方針

- ・ご利用者が地域での生活が送れるように、地域との共生を図り、安心して暮らせる場をつくれます。
- ・ご利用者の生活支援（食事提供、健康管理、金銭管理）や日中活動支援（一般就労・通所・余暇支援）を行い、ご利用者の自己選択、自己決定の機会を増やししながら自立した生活が送れるように支援します。
- ・家庭的なホームをご利用者・職員・世話人と共につくり、ご利用者がホーム生活を楽しめるように支援します。

③運営状況

令和 7 年度 事業計画（別紙参照）に基づき説明

令和 6 年度 事業報告（別紙参照）に基づき説明

④余暇支援等の報告

各ホームともご利用者様のご希望を聞き、毎月１回程度、買い物・外食・理容の外出を職員、世話人の付添いの元、行いました。

ホームご利用者様全員で果物狩り（令和６年度は「いちご狩り」）の外出を行いました。果物狩り外出はご利用者様にもご好評で、ご希望を聞きながら季節の旬に合わせて外出を計画します。

⑤権利擁護等の取組

意思決定支援（利用者話し合い、外出等、個別支援会議）

虐待防止・身体拘束適正化委員会の開催

第三者委員会によるご利用者様との面談

⑥通報、避難訓練等の報告

令和６年６月・９月・１２月・３月に実施しました。

また、感染症や非常災害の発生時においてご利用者様に対してサービスの提供を継続的に実施するための業務継続計画（BCP）の策定をしました。

⑦ご要望・ご助言

- ・土日祝日等、自宅への帰宅時は居室の施錠をお願いしたい。
→居室の施錠は外側からできないようになっています。帰宅等でご不在になる時はできる限り居室には入らないようにしますが、お金が無くなった等のトラブルを防ぐ為、貴重品はご自身で管理していただくようお願いします。
- ・体重が増えてきているため、散歩等の体を動かす活動があればありがたい。
→土日祝日等、ホームで過ごす際は職員の付添いによる散歩の機会を設けたいと思います。
- ・他害行為による本人や世話人さんへの怪我が心配です。きちんと対応して欲しい。
→他害行為にならないように不穏な時は居室で過ごしてもらう等、ご利用者同士の距離間には十分気を付けて支援します。
- ・姿勢（猫背）が悪くなってきているため、体操等の活動をしてほしい。
→毎朝、ホームではラジオ体操の時間を設けています。ご本人に無理なく背中伸びができるように椅子に座っての体操です。姿勢の悪さが進まないよう支援していきます。
- ・保護者とホーム間の連絡等は文章（連絡ノート等）にしてやり取りがあるとありがたい。
→すでに土日等、自宅にお帰りになるご利用者様には連絡ノートによるやり取りを行っています。大事な話は直接、電話による連絡も引き続き行ってまいります。
- ・高齢（保護者）になり免許証を返納しました。本人の通院に公共交通機関を利用しなければならず、負担となっています。ホーム側で通院付添いをお願いすることが出来ますか？
→事業所において、職員による通院付添いサービスは行っています。遠慮なくご相談ください。

- ・入浴を急かされると聞きました。本人のペースに合わせて、ゆっくりと入浴をさせてほしい。
→たいへん申し訳ありませんでした。入浴の順番等で、ご利用者様の間で色々ご希望（一番最初に入浴したくない等）があり、全員のご希望に添える案が見つからずいました。入浴時間が過ぎても、宿直者に入浴支援を引き継ぐ等してゆっくり急かすことなくしていきます。

管理者 中村から

貴重なご意見ありがとうございました。この会議は目的でもお話しさせていただきましたが、共同生活援助事業は事業運営が外部に見えづらいという課題があり、地域の関係者を含む外部の目を入れ、率直に意見交換し、お互いに気付きを得る機会となっています。今回、頂いた貴重なご意見を事業運営に生かし、ご利用者様のより良い生活に繋がるようにしていきたいと考えています。次回の会議は令和8年度を予定しています。本日はありがとうございました。

⑧ホーム見学（芽ぐみ→陽の芽→希の芽）